

第2回 第20回アジア競技大会名古屋市レガシー・ビジョン有識者懇談会

次 第

日 時：平成30年11月15日（木）10時～

場 所：名古屋市役所本庁舎5階正庁

I はじめに

- 1 本市の現状について 【参考資料1】
- 2 第20回アジア競技大会に関する取り組みについて 【参考資料2】

II 議題

- 1 レガシー・ビジョン（仮称）の策定に向けた意見交換
 - （1）取り組みの方向性について 【資料1， 1－2】
 - （2）理念及び題名について 【資料2】
 - （3）今後の進め方について 【資料3】
- 2 その他

（配布資料）

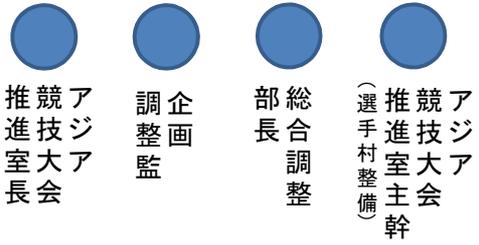
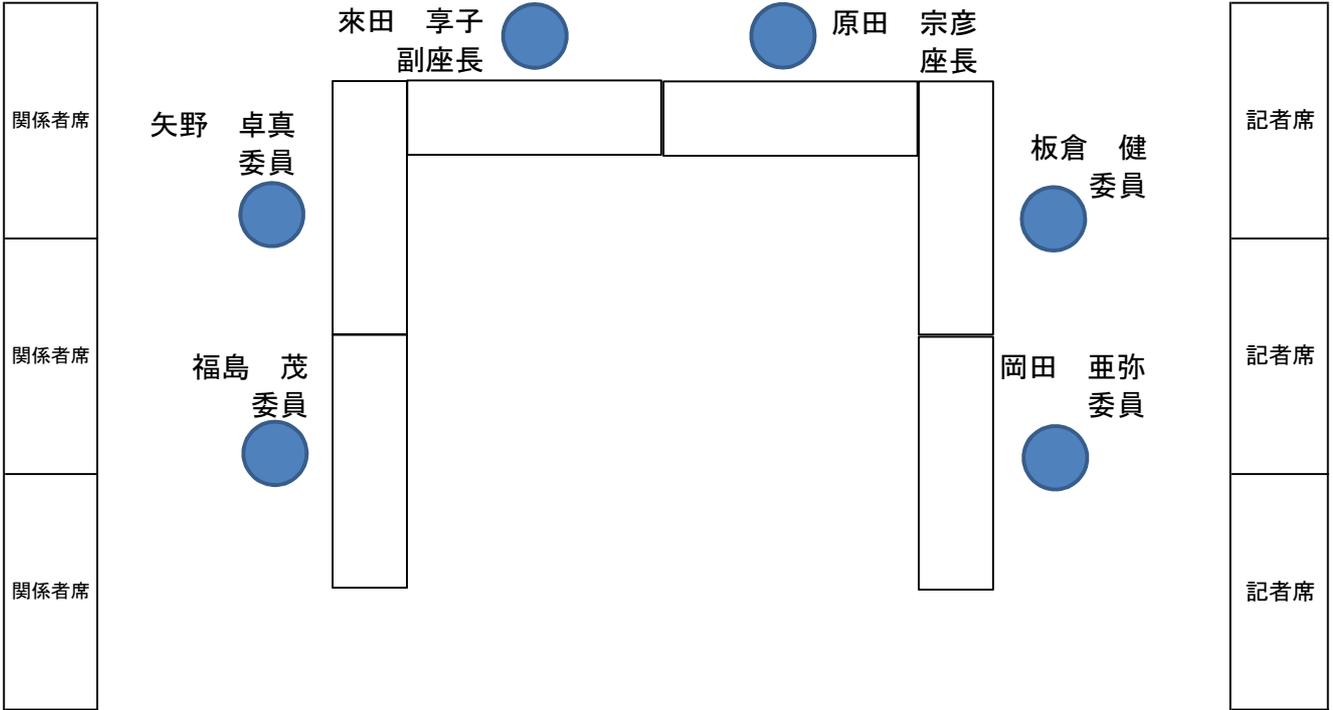
- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 資料 1 | 取り組みの方向性について |
| 資料 1－2 | まちの姿のイメージ図（事務局案） |
| 資料 2 | 理念及び題名について（素案） |
| 資料 3 | 今後の進め方について |
| 参考資料 1 | 名古屋市次期総合計画中間案 |
| 参考資料 2 | 第20回アジア競技大会の開催に向けた検討状況及び今後の取り組みについて |
| 参考資料 3 | リーフレット |

第2回「第20回アジア競技大会名古屋市レガシー・ビジョン有識者懇談会」
配席図

スクリーン

事務局

事務局



出入口

まちの姿	取り組みの方向性（案）	「取り組みの方向性（案）」の内容		施策区分		備考
		「方向性」の対象	「方向性」の概要	ハード	ソフト	
1 健康・ 地域活力	①活動的なライフスタイルの推進、健康増進	市民 が	生涯にわたり、日常生活の中でスポーツを始めとする身体活動に親しみ、自分らしく生きる	△	○	ハード整備は「4-③」、 子どもに特化した内容は「1-②」
		市民 が	スポーツを始めとする身体活動を通じて健康が増進する	—	○	
	②子どものスポーツの充実	子ども に	運動機会の充実を図る	△	○	
	③地域活性化、市民活動の促進	地域 が	スポーツイベント等で活性化する	—	○	
		市民 に	ボランティアなどの市民活動への参加を促進する	△	○	
	2 誇り・ 魅力	①スポーツを活かした魅力の創出・発信	市民・来訪者 に	スポーツを活用して本市の魅力を発信する	△	○
市民 が			スポーツを契機として本市に誇りを持つ	—	○	
②大規模大会・イベントの誘致・開催		—	スポーツコンベンションの場として本市をプロモーションし、大規模大会・イベントを誘致・開催する	△	○	
③アスリートへの支援		ジュニア選手 に	国際大会で活躍できるよう発掘、育成、支援する	△	○	
		アスリート を	支える環境を整える	—	○	
④名古屋が有する魅力資源の発掘・向上・発信		市民・来訪者 に	名古屋城を始めとする名古屋の魅力資源を発掘し、磨き上げ、発信する	○	○	
⑤インバウンドの促進・受入環境の整備	来訪者 が	本市及び圏域を目的として来訪する	○	○		
		本市に快適に滞在する	○	○		
3 学び・ 国際理解	①国際交流の推進	—	アジアを始めとする国際交流が推進される	△	○	
	②次世代を担うグローバル人材の育成・確保	子ども に対し	グローバル社会で通用する知識やコミュニケーション能力を身につけた次世代を担う人材を育成する	△	○	
		外国人 が	本市で活躍できる土壌を創出する	△	○	
	③共生社会の推進	市民 が	多様性への理解を深める	—	○	
多様な市民 が		本市でともに快適に暮らす	○	○		
4 大会モデル・ 先端技術	①大会モデルの構築	—	質素、簡素、機能的、合理的な大会運営を行い、大会運営の基盤、ノウハウが蓄積する	○	○	
		—	低炭素で循環型のまちづくりにつながる大会運営を行う	○	○	
	②新しいモデルとしての選手村の構築と大会後のまちづくりの推進	—	成熟都市における選手村の整備・運営の新たなモデルを構築する	○	○	
		—	競馬場跡地とともに、周辺地区全体の魅力化・地区環境の向上につながるまちづくりを推進する	○	○	
	③スポーツに親しむ場の整備	市民・アスリート に	大会後の活用を見据え、スポーツ施設を整備する	○	—	
	④防災性・利便性を備えた都市基盤の整備	市民・来訪者 に	防災性、利便性を備えた都市機能を提供する	○	○	来訪者に特化した内容は「2-⑤」
⑤産業交流、先端技術の活用・普及促進	—	地域産業の活性化、イノベーションの促進を図る	○	○		
	—	先端技術の活用と普及促進を図る	△	○		

まちの姿のイメージ図（事務局案）



※ 本資料は、まちの姿の相関関係を表すイメージであり、第2回有識者懇談会時点の事務局案です。

理念及び題名について（素案）

1 理念について

事務局案
人口構造の変化、価値観・ライフスタイルの多様化、インフラの更新時期といった大きな社会経済情勢の変化を迎える本市においては、アジア競技大会を本市及び名古屋大都市圏がともに持続的に発展するための機会と捉え、 成熟した国際都市としてのロールモデルを国内外に示すことにより、本市がアジアとともに発展していくビジョンを共有し、 アジアの人々との架け橋となる国際都市NAGOYAを市民とともに目指します

2 題名について

区分	事務局案
正題	第20回アジア競技大会名古屋市レガシー・ビジョン
副題	アジアとともに持続的に発展する国際都市NAGOYAを目指して

今後の進め方について

1 概要

- 幅広い議論を行うため、委員を追加し、第3回有識者懇談会からご参加いただく
- 議論の成熟を図るため、有識者懇談会の開催回数を4回から5回へ1回増加させる

2 追加する委員の候補分野

- 多様性
- 環境

3 スケジュール

時期		当初の予定	変更案
平成 30 年	10～12月	第2回懇談会	第2回懇談会 ・ 取り組みの方向性について ・ 理念、題名について ・ 今後の進め方について
平成 31 年	1～3月	第3回懇談会	第3回懇談会 ・ 多様性、環境について 第4回懇談会 ・ 取り組みの内容について
	4～5月	第4回懇談会	第5回懇談会 ・ 総括